

會務報告

第26卷第6號 昭和15年6月

役員會

第4回理事會 (昭. 15. 4. 22.)

出席者: 谷口副會長, 和田理事外 3 名

議事

1. 昭和 14 年旱害調査委員會委員に淺井政治, 杉戸清, 須藤 廉, 柴戸良五郎, 特別委員に古賀久六, 緒方虎之助, 河合 清の諸君を追加。
2. 土木學會文化映畫委員會委員に藤森謙一君追加。
3. 定款改正委員會委員の選定は總務部長に一任。
4. 大堰堤國際委員會日本國內委員會委員に新井榮吉, 井上秀二, 高橋嘉一郎, 那波光雄, 中川吉造, 前川貫一の諸君を選出。
5. 大陸研究座談會出席者選出は次回に選定。
6. 入退會を別記の通り承認。

第5回理事會 (昭. 15. 5. 6.)

出席者: 中村會長, 吉田副會長, 稻葉理事外 4 名

議事

1. セメント増産配給に關し當局と懇談する事に決定。
2. 定款改正委員會委員長に辰馬謙藏, 委員に稻葉通彦, 金子 征, 谷口三郎, 廣瀬孝六郎, 三浦義男, 水谷當起, 宮長平作, 和田重辰の諸君を依頼。
3. 大陸研究座談會を開催し, 八田嘉明, 大藏公望, 平山復二郎, 鈴木雅次, 黒田武定, 草間 偉, 宮本武之輔, 吉田 直, 今井 周の諸君に出席を依頼することに決定。
4. 視察旅行を 6 月 22 日新鹿澤温泉一泊にて行ふに決定。
5. 糧秣本廠器材研究室へ會誌 5 號以降寄贈に決定。
6. コンクリート調査委員會委員長後任に沼田政矩委員に若林正次, 高畑政信の諸君を追加。

第3回常議員會 (昭. 15. 4. 22.)

出席者: 谷口副會長, 井關常議員外 10 名

報告

1. 關西支部役員會議事, 2. 北海道支部役員會議事, 3. 日本工學會評議員會議事, 4. 3 月中入退會。

議事

1. 大同電力會社寄附申出の 2 萬圓は受領に決定。
2. 日本工學會評議員に總務部長和田重辰君, 理事候補に經理部長稻葉通彦君を選定。
3. 定款及規則改正に關する委員會設置決定。
4. 大陸研究座談會開催決定, 出席者詮衡理事會一任。
5. 昭和 15 年度追加豫算別紙 (省略) 承認。

6 第 4 回日本工學會大會土木部會講演集は印刷紙の關係を調査し豫約募集に依り發刊の豫定。

總務部記事

文化映畫委員會 (昭. 15. 4. 19.)

出席者: 青木委員長, 片平委員外 7 名

1. 講演及大陸映畫の夕に於ける講演は委員長に代つて片平委員が講演すること。
2. 勝磯橋のタイトルに就き検討。

文化映畫委員會 (昭. 15. 5. 8.)

出席者: 青木委員長, 片平委員外 5 名

1. 三國峠國道工事に就き技師より現地の狀況を聴取し, 現地視察及映畫製作に就いて協議した。
2. 映畫雲のローラーの編輯を開始した。

外人功績調査委員會 (昭. 15. 4. 17.)

出席者: 那波委員長, 眞田副委員長, 安藝委員外 7 名
 7 名外人の事績摘録及緒言を印刷し, 委員に配布編輯順序を次の如く決定した。

1. 本の題目を「我邦土木界に盡せる外人」とすること。
2. 編輯の順序 (1) 序文, (2) 目次, (3) 本文

第 1 章 學校「緒言」東京大學工部大學札幌農學校「事績」各人 第 2 章 鐵道「緒言」「事績」各人 第 3 章 河川, 港灣等「緒言」「事績」各人 第 4 章 道路, 都市計畫, 上下水道「緒言」「事績」各人 第 5 章 鑛山其他「緒言」「事績」各人 (4) 附錄 各人事績摘録
 3. 摘録及緒言内容に關し缺席者の意見を聴くこと。

外人功績調査委員會 (昭. 15. 4. 30.)

出席者: 那波委員長, 眞田副委員長, 赤木委員外 6 名
 事績摘録及緒言に關し次の諸項概要を決定。

1. 書方の統一
2. 學校緒言, 東京大學記事中に工藝學部を挿入。東京農林學校に就いては同校の沿革を挿入。
3. 各人の學位勳等を挿入。
4. 博士録を丹羽, 茂庭兩委員より借入れること。
5. 雜に關する緒言 (印刷物) を出席委員に配布。

第 86 回講演及大陸映畫の夕 (昭. 15. 4. 25.)

會場: 蠶絲會館 來會者 650 名

講演: 文化映畫委員會の仕事

土木學會文化映畫委員會委員片平信貴君
 映畫: (1) 建設工事 3 卷, (2) 祕境熱河 3 卷, (3) 大地 14 卷

懇談會 (昭. 15. 5. 10.)

セメント増産及配給に關し商工省化學局久保無機課長並に和泉技師及正木事務官の臨席を求め丸之内會館に於て意見の交換を行ひ, 又, セメントの強度低下に

關しては吉田副會長から技術的の説明を行ひ、當局の認識を深め善處方を要望して午後 9 時 30 分散會、出席者中村會長、吉田副會長、和田理事外 8 名

編輯部記事

第 5 回會誌編輯委員會 (昭. 15. 5. 8.)

出席者: 廣瀬委員長, 外 12 名,

- 1. 第 26 卷第 5 號所載原稿謝禮を決定。
- 2. 第 26 卷第 7 號登載原稿を次の如く決定。

論說報告: ポンプ浚渫船の經濟的運轉特に中繼ポンプに就て (會, 久藤久夫), 天龍川上流改良工事の效果に就て (會, 楠 仙之助)

彙報: 北陸線葉原杉津間線路變狀に就て (准, 須和俊三), 西南大鐵橋 (即黃沙鐵橋) 建設に關する資料 (准新井春一)

- 3. 工學會大會講演集豫約募集は紙の入手の見込がつき次第第 6 號に會告すること。
- 4. 總目錄の發行は紙の入手困難なる折柄延期すること。
- 5. 會誌は從來 1 頁 36 行なりしを上下の空きに 5 行を増し 1 頁 41 行とすること。
- 6. 會誌の本文頁数を 90 頁とすること。
- 7. 會誌體裁變更を適當なる時機に會告すること。
- 8. 中村書記長より昭和 15 年度會誌豫算に就て説明あり。

調査部記事

第 2 回昭和 14 年早査調査委員會 (昭. 15. 4. 23.)

出席者: 眞田委員長, 高橋副委員長, 水谷幹事, 河口委員外 5 名

- 1. 調査表式及 5 部門別記載要項に就き検討, 修正案を作成して決定案とすることにした。

コンクリート調査委員會 (第 15 回堰堤コンクリート小委員會) (昭. 15. 4. 18.)

出席者: 吉田委員長, 内村委員外 9 名

- 1. 宮崎君の後任に若林正次君を推薦。
- 2. 第 3 節締固め第 47, 48 條を纏めて 1 條とす。
- 3. 第 9 章繼目第 50, 51, 52 條を逐條審議。

コンクリート調査委員會 (第 16 回堰堤コンクリート小委員會) (昭. 15. 5. 2.)

出席者: 吉田委員長, 内村委員外 9 名

- 1. 第 37, 43, 47 條及繼目に關し修正案審議。
- 2. 高知政信君を新に委員に推薦。

コンクリート調査委員會 (第 17 回堰堤コンクリート小委員會) (昭. 15. 5. 9.)

出席者: 吉田委員長, 内村委員外 12 名

- 1. 第 44 條及び垂直方向の打繼目, 伸縮繼目に就き審議。

關西支部記事

第 3 回役員會 (昭. 15. 4. 17.)

出席者: 平野支部長, 島藤支部長外 4 名, 萩野商議員外 21 名

議事

- 1. 下半期事業に關する件, (イ) 通俗講演會, (ロ) 土木工學研究會, (ハ) 關西大會
- 2. 會員及會誌廣告募集の件
春季見學會 (昭. 15. 4. 21.)
見學場所: 阪神築港, 尼崎築港, 大阪港
參加者 119 名

その他記事

土木學會誌第 26 卷第 5 號を發行成規の手續を了し, 全會員に配布せり。

入會及轉格會員

(敬稱を略す)

會 員 (入 會)

浦上衛門	江戶良三	笹川信次	杉江傳六	關屋博	多田進
橋忠助	寺田省二	間中辰雄	峰野保雄	湯本久右衛門	石井源六

准 員 (入 會)

安藤 哲	相澤 進	井口昌哉	生川立夫	今田勇之助	上田厚
小佐野定男	太田澄	岡田亮平	門田義貞	韓 鎮 億	木村猛
小池龍夫	小林祐八	古賀孝	齋藤正樹	酒井勇	笹尾定二
山王賀義	重見通	篠原卓二郎	高橋潔	高橋滿雄	武市貢
館政雄	中野英一	中野三郎	夏目達雄	双木和雄	新澤嘉芽統
西山利夫	廣鱈典夫	深谷宗吉	松本清一	松本登	丸山丈夫
南敏弘	谷島勇作	柳田盈文	山崎正寛	山田的史	横川祐一
吉澤金造	吉野秀文	和久田正二	大石正一	佐藤雅雄	杉原安一

中 村 亨 山 本 準 六 加 藤 政 一 郎

學 生 員 (入 會)

伊 藤 忠 夫 榎 本 賢 二 小 野 寺 輝 男 辛 島 康 利 清 崎 義 春 田 邊 照 鄉	高 野 誠 一 都 筑 重 俊 中 野 尾 久 中 村 中 村 茂 茂 樹 之 西 山 本 隆 昭 一 深 市 田 慶 三 一 郎	岡 井 幸 敏 福 金 子 豐 本 田 茂 之 山 本 隆 昭 一 深 市 田 慶 三 一 郎
---	---	---

會 員 (轉 格)

大 串 滿 馬 幸 野 弘 道 和 里 田 新 平

准 員 (轉 格)

阿 部 雙 吉 阿 部 順 三 相 澤 郁 之 進 青 木 美 代 一 赤 司 健 一 淺 岡 一 雄	淺 伊 藤 今 梅 大 奧 金 北 小 苔 佐 櫻 柴 新 鈴 關 高 土 永 野 濱 春 藤 細 松 宮 元 鏡 山 橫 若	野 藤 庭 森 高 野 子 山 池 口 藤 井 田 開 木 野 橋 谷 松 口 島 田 原 本 原 信 瀬 本 山 林	順 清 正 雄 省 慶 義 盛 健 正 芳 鶴 勝 四 義 久 八 松 藤 忠 次 龍 春 逸 和 軍 重	三 一 一 一 藏 道 清 雄 久 一 勇 憲 男 芳 衛 郎 雄 登 郎 豐 孝 市 雄 郎 夫 雄 郎 甫 衛 治 正 吉	進 彥 行 守 滿 平 雄 男 照 二 治 孝 幸 郎 之 康 雄 雄 雄 作 三 雄 孝 雄 一 雄 孝 豐 郎 實 一	之 襲 清 江 口 正 芳 久 大 義 辰 迫 佐 太 遠 茂 秀 三 重 正 次 保 和 富 健 政 三 純	相 天 池 入 江 大 加 龜 余 小 近 齋 清 柴 惣 鈴 田 高 坪 長 野 濱 日 藤 本 三 宮 百 山 山 吉 金	澤 野 上 江 沼 藤 井 大 林 藤 藤 水 原 見 木 川 橋 沼 濱 崎 中 垣 原 由 宅 本 田 家 駿 三 純	青 荒 池 上 小 大 改 川 工 小 佐 坂 清 首 末 鈴 田 高 鶴 銅 野 林 日 藤 眞 三 村 森 山 山 米	木 川 田 籠 名 宮 發 上 藤 林 々 木 水 藤 三 木 中 橋 谷 木 正 野 本 董 憲 三 利 尚 定	美 磐 迪 賀 正 克 止 正 禎 邦 孝 武 隆 喜 正 幸 吉 久 良 英 孝 友 董 憲 三 利 尚 定	代 斗 弘 義 久 已 正 夫 三 典 彦 一 志 二 男 治 男 雄 二 一 俊 弘 三 啓 元 吉 郎 明 典 尙 義	赤 荒 石 上 王 太 笠 韓 久 小 佐 酒 清 周 菅 鈴 多 瀧 德 二 長 林 平 逸 增 美 村 森 山 山 米	司 武 井 野 田 谷 基 千 正 遠 義 俊 慶 一 良 邦 誠 秀 博 宏 知 重 二 研 秀 增 純 博 佳	健 太 勉 一 化 豐 博 榮 助 香 雄 治 男 璋 義 夫 夫 一 雄 義 太 巳 郎 良 通 介 雄 利 雄 重 年	淺 井 一 上 王 沖 門 菊 草 額 佐 櫻 茂 庄 杉 清 高 楯 中 任 橋 原 平 逸 松 水 餅 矢 山 山 和	岡 上 條 塾 本 田 地 間 續 々 井 田 司 浦 家 橋 島 新 本 榮 野 見 井 島 田 野 本 脇 田	一 吉 安 哲 昌 三 春 之 木 昇 田 義 一 一 淳 島 新 幸 次 駿 正 正 勝 萬 易 一	雄 昇 雄 郎 源 男 生 勳 久 郎 夫 助 澄 正 安 郎 夫 市 正 銘 一 郎 吉 則 夫 治 保 治 章 郎 郎
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

土木學會々員數

會 員	准 員	學 生 員	特 別 員	贊 助 員	合 計
8 375	4 731	1 326	92	37	9 551

會 員 鬼海治三郎君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す

准 員 森藤次郎君の訃報に接す、本會は恭しく哀悼の意を表す